

グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)



組入上位銘柄のご紹介

本資料では、2019年1月末現在の組入上位銘柄について、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からのコメントをもとにご紹介します。

組入上位10銘柄(2019年1月末時点)

★本資料でご紹介する銘柄

(銘柄数:53銘柄)

	銘柄名	国名	主なゲノム分類	業種	組入比率
★	1 イルミナ	米国	ゲノム関連ハードウェア (解析・検査機器等)	医薬品・バイオテクノロジー	8.6%
★	2 インビテ	米国	ゲノム診断	医薬品・バイオテクノロジー	5.0%
★	3 メディデータ・ソリューションズ	米国	バイオインフォマティクス等	ヘルスケア機器・ サービス	4.3%
★	4 インテリア・セラピューティクス	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.9%
	5 CRISPRセラピューティクス	スイス	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.7%
	6 エディタス・メディシン	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.6%
	7 ナノストリング・テクノロジーズ	米国	ゲノム診断	医薬品・バイオテクノロジー	3.4%
	8 ブルーバード・バイオ	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.4%
	9 ブリストル・マイヤーズ スクイブ	米国	ゲノム編集(ヒト)	医薬品・バイオテクノロジー	3.3%
	10 ヴェラサイト	米国	ゲノム診断	医薬品・バイオテクノロジー	3.3%

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 「ゲノム分類」はアーク社が考える分類です。

※ 業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介①



**イルミナ
(米国)**

主なゲノム分類

ゲノム関連ハードウェア
(解析・検査機器等)

ゲノム解析機器のグローバルリーダー

- イルミナは、ゲノム解析機器(シーケンサー)における **世界シェアの約95%を有する世界最大手の企業***です。
- 同社のシーケンサーは、ヒトゲノムの解析を1,000米ドル以下で行なうことを初めて可能にするなど、**ゲノム解析における技術革新をリード**しています。
- また同社は、2018年11月、「**ロングリード****」解析技術に**強みを持つパシフィック・バイオサイエンスの買収合意を発表**しました。同技術は、免疫学、腫瘍学、農業において利用されており、今後の市場拡大が期待されています。

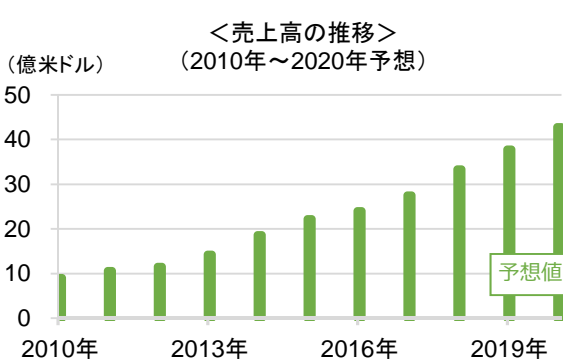


※写真はイメージです。

**ARK
の視点**

* 2019年1月時点に提供されたアーク社からの情報をもとに、日興アセットマネジメントが作成
** 塩基配列を短く断片化して読み取る「ショートリード」解析技術と比較して、長い塩基配列を解析する技術

➤ アーク社では、**2020年までにヒト1人当たりのゲノム解析コストは100米ドルまで下がる**と考えています。こうしたゲノム解析コストの低減により、ヘルスケアやゲノム診断薬分野の新たな需要が生み出されることで、同社の業績のさらなる拡大を見込んでいます。



※EPSおよび売上高は決算期ベース、予想値は2019年2月時点の市場予想です。

会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介②



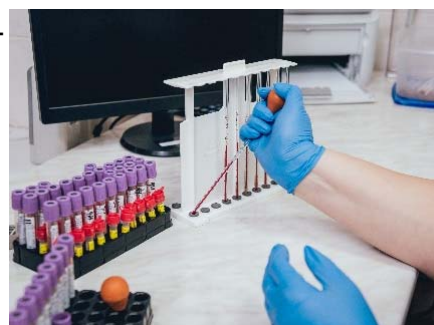
インビテ
(米国)

主なゲノム分類

ゲノム診断

分子診断サービスの中心的企業

- インビテは、医療機関の臨床現場において様々な遺伝子検査サービスを提供しており、特に血液などを調べることで患者の病気を特定する**分子診断サービスにおける中心的な企業**です。また、**莫大な遺伝子データを保有する企業の一つ**でもあります。
- 同社は、質の高い遺伝子検査を医療に取り入れるため、医療機関を通じて提供された患者のゲノムの解析・診断を行なうサービスを提供しています。
- また同社は、2019年1月、こうした**遺伝子検査サービスを医療機関だけでなく一般個人にも直接提供することを発表**しました。これより、**遺伝子検査サービス市場は一段と拡大することが期待**されます。

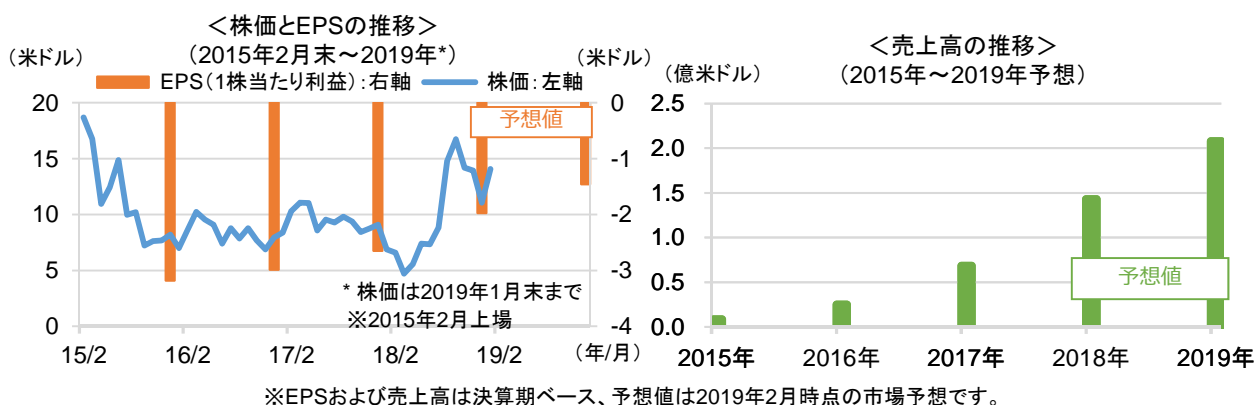


※写真はイメージです。

ARK
の視点



➤ アーク社では、**同社の分子診断サービスを使った診断が標準的な診断方法になる可能性**があると考えており、今後、同社の業績のさらなる拡大を見込んでいます。



会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介③



メディデータ・ソリューションズ
(米国)

主なゲノム分類

バイオインフォマティクス等

クラウド型ソリューションで臨床開発・研究を最適化

- メディデータ・ソリューションズは、**臨床開発・研究の効率を高めるソフトウェアをクラウドベースで提供**しています。
- **グローバル製薬企業や医療機器メーカー、学術研究機関、政府機関など、多くの企業・機関において、同社のソフトウェアが導入されています。**
- 具体的には、従来の紙ベースでの医療データ取得・管理のデジタル化や、臨床試験の計画や結果分析などのプロセスの総合的な最適化などを実現するソフトウェアなどがあります。

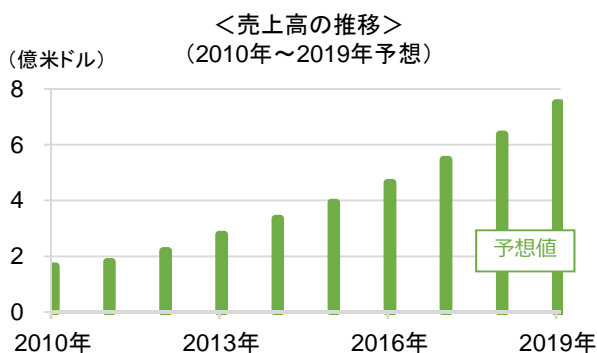
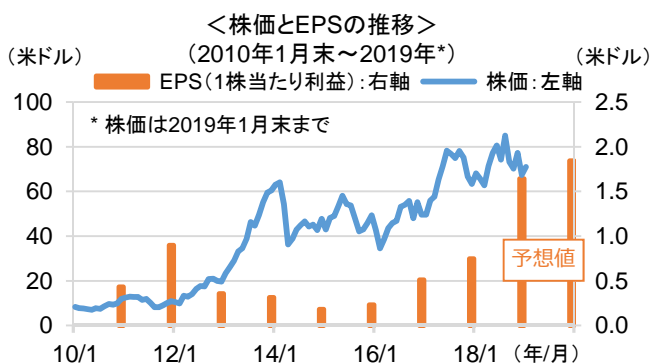


※写真はイメージです。

ARK
の視点



- 多くの医薬品メーカーなどが同社のソフトウェアを導入していることに加え、遺伝子医薬品の臨床開発・研究の急速な増加が同社の成長を加速させると見えています。



※EPSおよび売上高は決算期ベース、予想値は2019年2月時点の市場予想です。

会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

組入上位銘柄のご紹介④



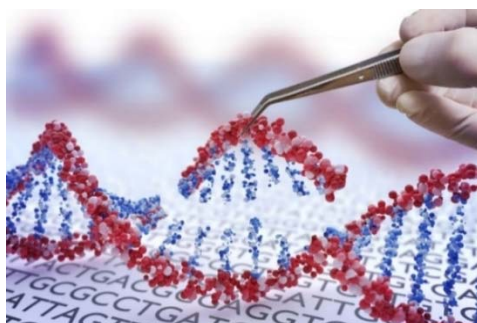
**インテリア・セラピューティクス
(米国)**

主なゲノム分類

ゲノム編集(ヒト)

ゲノム編集技術のライセンスを保有

- インテリア・セラピューティクスは、**現在の主流となっているゲノム編集技術「CRISPR/Cas9(クリスパー/キャスナイン)」の知的財産所有権を持つ3社のうちの1社**で、発明者の一人とされるジェニファー・ダウドナ博士らが設立したバイオテクノロジー企業です。
- 同社は、**遺伝性疾患に対する遺伝子治療薬の研究および臨床開発に注力**しています。
- また同社は、血液ガンなどの難病の治療薬開発のために、そうした分野の研究開発に強みを持つリジェネロン・ファーマシューティカルズや、「CAR-T(キメラ抗原受容体T細胞)療法」においてFDA(米国食品医薬品局)から世界で初めての認可取得に成功したノバルティスなどと提携しています。



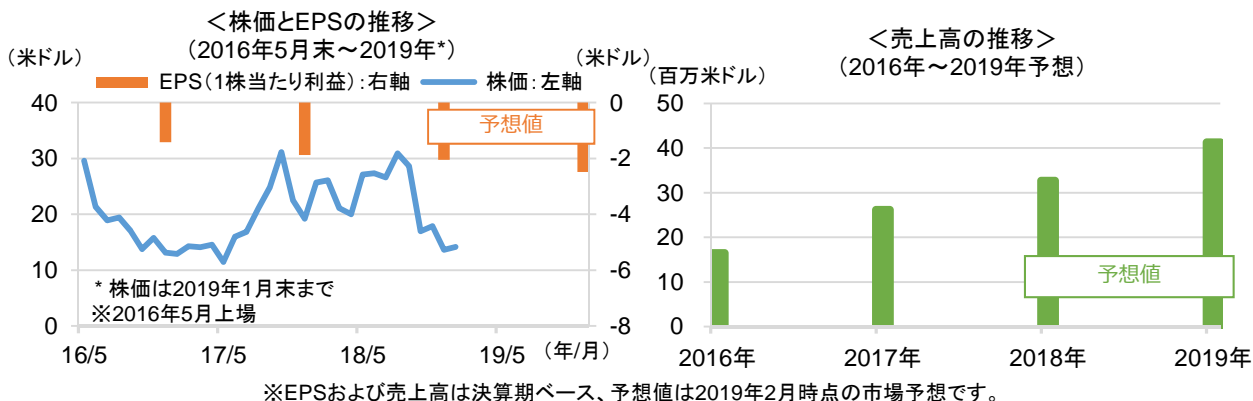
※写真はイメージです。

ARK
の視点



➤ 画期的なゲノム編集技術であるCRISPR/Cas9の知的財産所有権を持つ同社は、同技術のライセンスを供与している提携先の製薬会社からのマイルストーン支払い*や売上高に対して一桁台半ばと推測される特許利用料率などの収入が見込まれ、同技術の利用拡大とともに、今後の成長が期待されます。

* 開発の進捗状況に応じて支払われる報酬



会社公表資料など信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、当ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、アーク社からのコメントをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

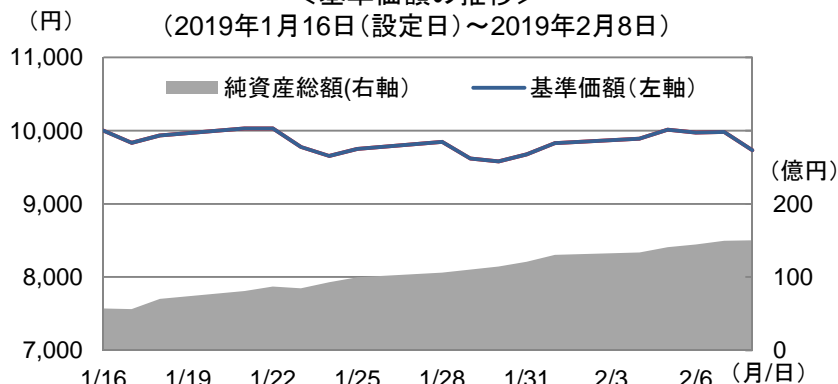
※ 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの運用状況

＜基準価額の推移＞

(2019年1月16日(設定日)～2019年2月8日)

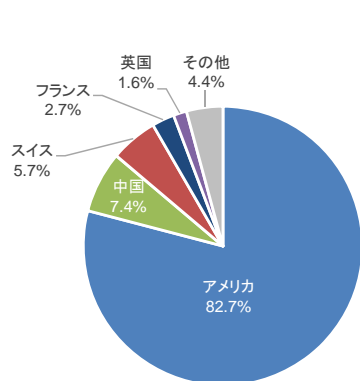


基準価額
9,734円
純資産総額
150億円
2019年2月8日現在

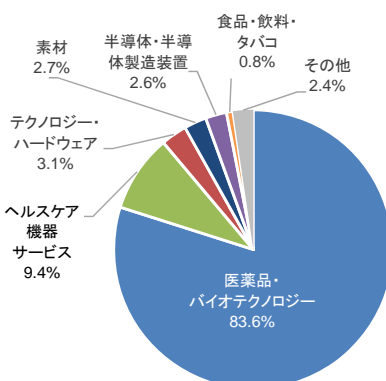
※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

ポートフォリオの状況(2019年1月末時点)

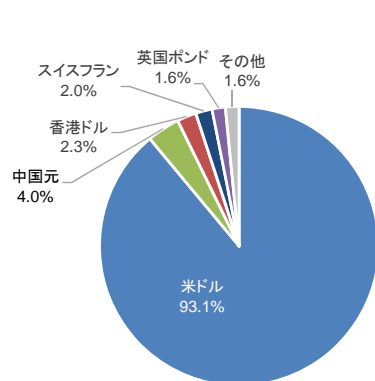
【国・地域別比率】



【業種別比率】



【通貨別比率】



※ 業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

【ゲノム分類別比率】

ゲノム分類	比率
1 ゲノム編集(ヒト)	48.0%
2 ゲノム関連ハードウェア(解析・検査機器等)	16.8%
3 ゲノム診断	13.2%
4 バイオインフォマティクス等	12.1%
5 ゲノム編集(動植物等)	9.9%

出所: アーク社

※「ゲノム分類」はアーク社が考える分類です。

【規模別比率】

規模分類	時価総額	比率
小型株	20億米ドル未満	45.1%
中型株	20億米ドル以上 100億米ドル未満	21.7%
大型株	100億米ドル以上 500億米ドル未満	17.0%
超大型株	500億米ドル以上	16.3%

※ 上記はマザーファンドの状況です。比率はマザーファンドの組入株式時価総額に対する比率です。

※ 四捨五入などの関係で合計が100%とならない場合があります。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式*に投資を行ないます。
* 預託証券を含みます。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みの際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年12月7日まで(2019年1月16日設定)
決算日	毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.24%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率 <u>1.7712%(税抜1.64%)</u>
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)